



2012年9月13日

報道関係各位

## 日本コロムビア発売の国産初のLPレコードが 国立科学博物館の未来技術遺産に登録！

日本コロムビア株式会社(以下、「当社」、本社:東京都港区、代表取締役社長兼最高執行責任者(COO):原 康晴)は、1951年3月に当社から発売された国産初の塩化ビニル製LPレコードが、日本の科学技術の発展に大きく寄与したものとして、独立行政法人国立科学博物館(館長:近藤信司、以下:国立科学博物館)の重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)に登録されましたので、お知らせいたします。

未来技術遺産の登録制度は、国立博物館が2008年度より実施しているもので、「科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つ科学技術史資料」および「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えた科学技術資料」の保存と活用を図ることを目的とするものです。

これまでに92件の資料が登録され、今回新たに21件の資料が登録されました。

### 【登録内容】

名称:国産初のLPレコード

制作年:1951年

### 【選定理由】

19世紀末から約半世紀にわたり、レコードには天然樹脂であるシェラックが用いられていた。

1948年にビル・バックマンなどが塩化ビニルを用いたマイクロ・グループ式のLPレコードを開発して以来、破損しにくく、低雑音で音質が飛躍的に改善され、長時間録音も可能となり、またたく間に世界中のレコードが塩化ビニルを主体としたプラスチック材料に置き換えられ、クラシック音楽を身近に楽しむ環境の整備に大きく貢献した。

日本では日本コロムビアが1951年初めて塩化ビニル製LPレコードを国産化した。材料はアメリカUCC社製の樹脂を使ったものと考えられる。

国産初の塩化ビニル製LPレコードは1951年3月に4作品発売されたうちの2作品が現存している。





2012年9月13日

■会社概要

会社名 : 日本コロムビア株式会社

所在地 : 東京都港区虎ノ門 4-1-40 江戸見坂森ビル

代表者 : 代表取締役社長 兼 COO 原 康晴

事業内容 : ミュージックソフト・ゲームソフト等の制作、宣伝、販売および音楽アーティストのマネジメント

資本金 : 1,000 百万円

URL: <http://columbia.jp>

■本件についてのお問合せ先

日本コロムビア株式会社

email: [kakurai\\_kouichi@columbia.co.jp](mailto:kakurai_kouichi@columbia.co.jp)